

ドルコスト平均法ゲーム (じぶん年金ゲーム)



使い方マニュアル



ドルコスト平均法協会

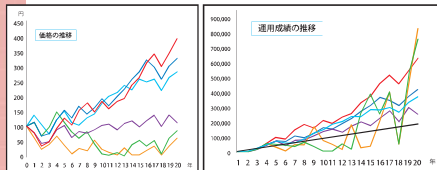
ドルコスト平均法ゲームで正しく、楽しく伝えよう（愛称：じぶん年金ゲーム）



ワンタッチで簡単にドルコストの面白さを説明できる！

タブレットでもスマホでもOK！

銀行・証券会社・保険会社など、全国の手金融機関で続々採用頂いています！



- ・ドルコスト平均法の特徴を、正しく説明できる！
- ・ドルコスト平均法を、楽しく・わかりやすく説明できる！
- ・型通りプレゼンするだけでOK！誰でも簡単に説明できる！
- ・PCだけでなく、タブレットでもサクッと使える！
- ・セミナーだけでなく、面談でも気軽に使える！
- ・iDeCo、積立NISA、投信積立、変額保険、確定拠出年金の教育にピッタリ！

「間違っただルコスト説明法」は、今すぐやめよう！



残念なことに、今の日本には「平均買付単価が下がる」という「間違っただけ」のドルコスト説明法が定着しています。ドルコスト平均法の真逆の印象を与えてしまうだけでなく、重要な特徴やリスクが何一つ説明できていません。

2018年に、全国の銀行・証券会社・信用金庫・労働金庫などの658の投資信託を販売する金融機関のHP等を調べた結果、ドルコスト平均法の特徴やリスクを正しく説明している金融機関は1社もありませんでした。

「平均買付単価」ではドルコストの特徴を正しく説明できない

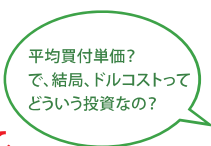
一括投資にないドルコスト平均法の特徴

- ① 安心感（回復力）
- ② 下落から戻った時の成長力
- ③ 値上がりのメリット
- ④ シーズーの関係
- ⑤ 細かい値動きを気にしないでOK
- ⑥ スタートのタイミングは関係ない（早く始めてOK）
- ⑦ 終盤に向けてリスクは高くなる

「平均買付単価」では、何一つ説明できない。

今すぐ「平均買付単価」はやめて、

「投資の成績＝量×価格」で説明しよう！



現在定着している「下がった時に多くの量を買ひ、上がった時少ない量しか買わないので、平均買付単価が低くなります・・・」という説明は、真逆の印象を与えるだけでなく、何一つドルコスト平均法の重要な特徴やリスクを説明できません。ドルコスト平均法のアドバイザーは、結果責任を負うお客様が適切に判断できる様に、「平均買付単価」の説明を今すぐ辞めるべきです。

代わりに、「投資の成績＝量×価格」を用いて、まだ全然知られていないドルコスト平均法の特徴やリスクを伝えるべきです。

たった1つのプレゼンの型をマスターするだけでOK!



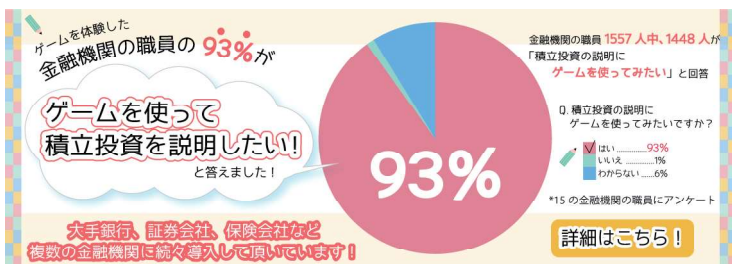
「ドルコスト平均法ゲーム」を使えば、これまで説明されてこなかったドルコスト平均法の特徴やリスクを正しく説明できます。

このゲームは、大切なプレゼンの「型」があります。「型」通りにプレゼンすれば、誰でもドルコスト平均法の特徴やリスクをきちんと説明できます。「型」なので再現性が高いのです。「型」を覚えれば、いつでもどこでも、好反応なプレゼンが可能になります。

ほとんどのお客様は、「下がったら損する」「始めるタイミングが重要」と誤解しています。このゲームを使えば、誰でも簡単にそれらの「誤解」を解くことができ、「へ〜!」「ほ〜!」「知らなかった!」と喜んでくれます。

お客様が喜んでくれるので、アドバイザーの方も嬉しくなり、自信が付き、さらに教えたくります。iDeCo、つみたてNISA、確定拠出年金、投信積立、変額保険などの教育に効果的なツールです。

銀行・証券・保険など、大手金融機関で続々導入済み



当ゲームは、既に大手証券会社、保険会社、銀行など複数の金融機関に採用いただいています。それまで事務仕事をしていた社員の方が、営業現場に配置換えになった後、当ゲームを使い、投信積立の成約件数が社内でもトップクラスになった等の嬉しい報告も多数頂いています。ドルコスト平均法ゲームを使って、わかりやすく・面白く・興味深く、ドルコスト平均法の特徴やリスクを説明しましょう。

	初期登録料	月額利用料
初期登録料	10,800円	5,400円/月
法人2名	21,600円	10,800円/月
法人3名以上	お問い合わせください	お問い合わせください

ゲーム無料解説動画も公開中！定期的に説明会も開催中！詳しくは、ドルコスト平均法協会HPまで！

目次

はじめに じぶん年金ゲームとは:P3

ゲームを使う前の準備:P4

<ゲームの4つの使い方>

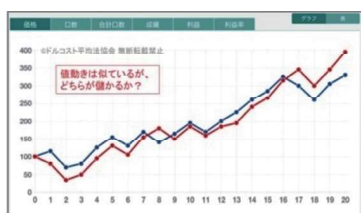
【1】 初期設定プレゼン:P5



このゲームの基本となる初期設定プレゼンです。マニュアルの型通りにプレゼンすれば、「シーソーの関係」や、「始めるタイミングは気にしないで良い」など、ドルコスト平均法の特徴やリスクを全て解説できます。この型は、全国の多数のゲームユーザーのフィードバックを受けながら、何段階もブラッシュアップして完成されました。

お客様にドルコスト平均法の特徴をわかりやすく伝えるのに便利な型になります。まずは、初期設定プレゼンをマスターしてください。

【2】 オプションプレゼン:P12



オプションプレゼンは、特定の目的ごとに使えるワンポイントプレゼンです。

次の様な使い方があります。

- ①お客様が辞めてしまう2つのポイント(10年プレゼン)
- ②細かい値動きは悩んでも仕方ない(赤青プレゼン)
- ③いつまで元本確保にしている?[DCオススメ](茶色プレゼン)

それぞれ、非常に説得力があるプレゼンが出来ますので、ご活用ください。

【3】ランダム・ゲーム:P15



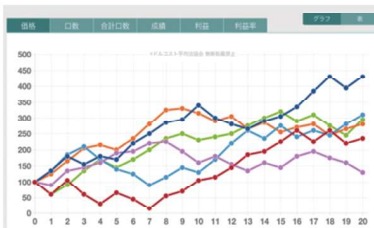
初期設定プレゼンで、基本を説明したら、お客様と一緒にランダム・ゲームをしましょう。

ランダムを行うとお客様の理解がより一層深くなります。その理由は、覚えたことをアウトプットするからです。

一方的に話を聞いているだけの研修と、話を聞いた後にロープレをしてアウトプットする研修では、どちらが身につくでしょうか？圧倒的に後者です。

ドルコストも同じです。初期設定プレゼンでお客様にドルコストの特徴をインプットしてもらった内容を、アウトプットする機会がランダムゲームです。

【4】初期設定クイズ:P16



セミナーや面談ですぐに使えるクイズを登録してあります。このパターンは、これまでの実践の中で反応が良いものを選びました。

ランダムをするのはちょっと怖いと思う方は、初期設定クイズをご活用ください。

金融機関の職員が大勢外したパターンも登録してあります(クイズ5,6,7)。ほとんどの人がズバッと外します。面談やセミナーで使ってください。

【5】ゲームを使いこなすヒント・注意点:P19

はじめに

じぶん年金ゲームは、ドルコスト平均法を正しく説明し、お客様の誤解を解くツール

【問題】間違っただドルコスト説明法が定着してる

銀行・証券会社・運用会社・信用金庫などの金融機関だけでなく、有識者、業界団体、金融庁まで、間違っただドルコスト平均法の説明をしている...

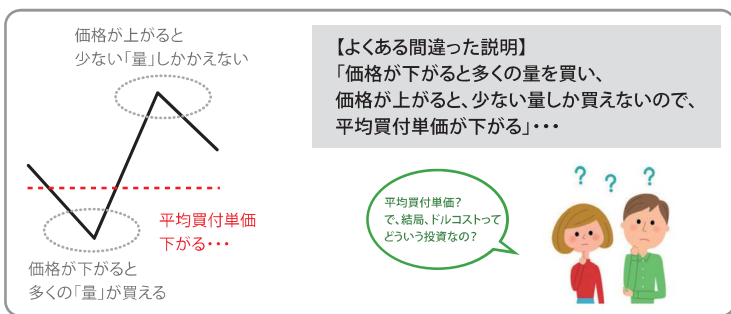
「間違っただドルコスト説明法」は、今すぐやめよう!



残念なことに、今の日本には「平均買付単価が下がる」という「間違いだらけ」のドルコスト説明法が定着しています。ドルコスト平均法の真逆の印象を与えてしまうだけでなく、重要な特徴やリスクが何一つ説明できていません。

2018年に、全国の銀行・証券会社・信用金庫・労働金庫などの658の投資信託を販売する金融機関のHP等を調べた結果、ドルコスト平均法の特徴やリスクを正しく説明している金融機関は1社もありませんでした。

「平均買付単価」ではドルコストの特徴を正しく説明できない



現在定着している「下がった時に多くの量を買、上がった時少ない量しか買わないので、平均買付単価が低くなります...」という説明は、真逆の印象を与えるだけでなく、何一つドルコスト平均法の特徴やリスクを説明できません。

アドバイザーには正しく伝える「説明責任」がある

結果責任を負うお客様が、適切に判断できる様に、アドバイザーは、正しく説明しなければいけない

ドルコスト平均法には、このような特徴があります。また、こういうリスクがあります。

アドバイザー

アドバイザーは「説明責任」を負う



正しい説明



わかりやすい説明をありがとう。自己責任だから、しっかり考えて、判断します。

お客様

お客様は「結果責任」を負う



ドルコスト平均法を含めて、資産運用の原則は自己責任です。儲かろうが損しようが、お客様が最終的な結果責任を負います。

それでは、資産運用のアドバイザーはどの様な責任を負うのでしょうか? 答えは、説明責任です。最終的な損益の責任を取るお客様が、適切に判断しやすい様に、特徴やリスクなどを正しく説明しなければいけないのです。

一括投資にないドルコスト平均法の特徴を伝えよう!

一括投資にないドルコスト平均法の特徴

- ① 安心感(回復力)
- ② 下落から戻った時の成長力
- ③ 値上がりのメリット
- ④ シーソーの関係
- ⑤ 細かい値動きを気にしないでOK
- ⑥ スタートのタイミングは関係ない(早く始めてOK)
- ⑦ 終盤に向けてリスクは高くなる

ドルコスト平均法には、一括投資にはない様々な特徴やリスクがあります。まず、ドルコスト平均法のアドバイザーは、正しくそれらの特徴を説明する責任があるのです。

お客様の「3つの誤解」を解くと喜んでもらえる

日本人が持っている3大誤解

- ① 下がったら損をする
- ② 商品の成績が大事
- ③ 投資を始めるタイミングが重要

お客様は投資について、「3つの誤解」を持っています。

誤解1: 投資した商品が値下がりしたら損をする

誤解2: 商品の成績が大事

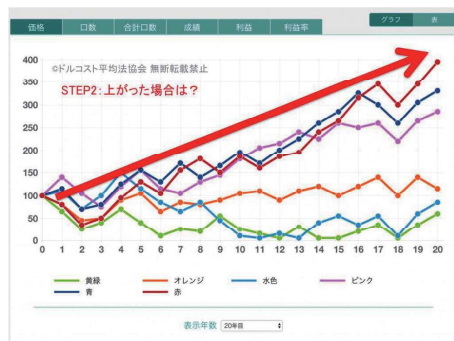
誤解3: 投資を始めるタイミングが重要だ

この3つの誤解のせいで、「投資は怖い」「損しそうで嫌だ」「どの商品を選んでいいかわからなくて、難しい...」「騙されそう危険。怖い...」と思いついてる人が大勢います。

しかし、この3点はドルコスト平均法には全て当てはまりません。じぶん年金ゲームを使って、ドルコストを正しく説明すれば、これらの誤解を簡単に取り除くことができます。

お客様の誤解を取り除いてあげると、「へ〜!」「ほ〜!」「知らなかった!」と喜んでくれます。そうすると、自然にドルコスト平均法に興味が高まり、実践してみたいくなります。また、お友達や同僚、ご家族にも「これ、知ってる?」と話したくなるのです。「うちの従業員、これ知らないから、勉強会してくれませんか?」という依頼も沢山いただけます。そして、お客様のフォローも格段に楽になります。値下がりしても怖くなくなるからです。正しい説明はお客様もアドバイザーも両方幸せになるのです。

まずは基本プレゼンの「型」をマスターしよう!



このゲームは、大切なプレゼンの型があります。この「型」通りにプレゼンしていただければ、しっかりとドルコスト平均法の特徴を理解していただけます。「型」なので再現性が高く、誰でもいつでも同じ様に、ドルコスト平均法の特徴やリスクを説明できます。

一度「型」を覚えれば、いつでもどこでも、好反応なプレゼンが可能です。まずは、基本となるプレゼンの「型」をマスターしてください。

じぶん年金ゲームを使うとお客様に喜んでくれます。すると、ドルコストを伝えるのがさらに楽しくなります。正しく楽しくドルコストを伝えて、1人でも多くの人々にドルコストを教えて、将来お金で困る人を減らしましょう!

ゲームを始める前の準備

星野式ドルコスト説明法で、「投資の成績=量×価格」を説明しよう

「投資の成績=量×価格」が基本



このゲームを利用する前に、星野式ドルコスト説明法で、必ず「投資の成績=量×価格」を説明して下さい。「投資の成績=量×価格」の公式を、「量」の3ステップで説明するのが重要です。

*星野式ドルコスト説明法については、ドルコスト協会が発行している小冊子や、星野泰平の著作物をご覧ください。

準備①：半値グラフのクイズを出す

【問題】毎月1万円ずつ10年間、次の商品に積立投資をした場合、10年後にいくらになるでしょうか？
*投資金額=1万円×12ヶ月×10年間=120万円

①約72万円 ②約90万円 ③約139万円

まず、半値グラフを使い、クイズを出しましょう。
10,000円からスタートして、7年後に2,000円まで下がり、10年後に5,000円まで戻るパターンです。
この商品に毎月1万円ずつドルコストをすると、10年間で投資金額は120万円です。
商品の価格が半値になっても、投資の成績は約139万円で利益が出ます。

準備②：「投資の成績=量×価格」を解説する

投資の成績=量×価格

「量」の3ステップ

手元に入のお金 70,000円 = 350個 × 200円

ポイント① 「量」の意識を持つ

- 投資をするのは、リンゴを買うのと同じ
- スーパーで、1個100円のリンゴを1万円分買うと100個買える
- 値段が100円の株を1万円分買うと、100個買える

ポイント② 毎回、買える量が変わる

100円 → 100個, 200円 → 50個, 50円 → 200個

ポイント③ 買った量を積み上げていく

1ヶ月目:100個, 2ヶ月目:300個, 3ヶ月目:350個

次に、「投資の成績=量×価格」を説明します。ポイントは、「量」の3ステップで説明する点です。STEP1で「量」の視点を与えます。STEP2で、買える「量」が変化する点を伝えます。STEP3で、「量」を積み上げる点を解説します。そして、積み上げた「量」を最後に、「価格」で掛け算すると投資の成績が出ます。

準備③：もう一度半値グラフのクイズを見せる

【問題】毎月1万円ずつ10年間、次の商品に積立投資をした場合、10年後にいくらになるでしょうか？
*投資金額=1万円×12ヶ月×10年間=120万円

①約72万円 ②約90万円 ③約139万円

「量」の3ステップで、「投資の成績=量×価格」を説明したら、もう一度半値グラフを見せます。すると、お客さまは、先ほどまでなかった「量」が見えます。価格が下がると「量」が買えるイメージができます。このクイズの場合、最後の価格は5,000円でしたが、途中で「量」を多く買ったので利益が出たと解説し、「投資の成績=量×価格」を理解してもらいます。

注意①：まず「量」の視点をしっかり説明する

投資の成績=量×価格

手元に入のお金 70,000円 = 350個 × 200円

ポイント① 「量」の意識を持つ

- 投資をするのは、リンゴを買うのと同じ
- スーパーで、1個100円のリンゴを1万円分買うと100個買える
- 値段が100円の株を1万円分買うと、100個買える

ポイント② 毎回、買える量が変わる

100円 → 100個, 200円 → 50個, 50円 → 200個

ポイント③ 買った量を積み上げていく

1ヶ月目:100個, 2ヶ月目:300個, 3ヶ月目:350個

量の視点をきちんと解説する

1つ目の注意点は、STEP1の「量」の視点をきちんと解説する点です。ほとんどのお客さまは、「量」の視点を持っていません。「価格」ばかりに意識が向いてます。理由は、金融業界が「量」の視点を正しく解説してこなかったからです。
投資は普段のお買い物と同じで、「量」を買う作業と解説し、しっかり「量」の視点を伝えましょう。

注意②：「平均買付単価」に行かない

投資の成績=量×価格

手元に入のお金 70,000円 = 350個 × 200円

ポイント① 「量」の意識を持つ

- 投資をするのは、リンゴを買うのと同じ
- スーパーで、1個100円のリンゴを1万円分買うと100個買える
- 値段が100円の株を1万円分買うと、100個買える

ポイント② 毎回、買える量が変わる

100円 → 100個, 200円 → 50個, 50円 → 200個

ポイント③ 買った量を積み上げていく

1ヶ月目:100個, 2ヶ月目:300個, 3ヶ月目:350個

平均買付単価に行かない

今、巷には「価格が下がったら多くの量を買って、価格が上がったら少ない量しか買わないので平均買付単価が下がる」という間違った説明が定着しています。つまり、STEP2の「変える量が変わる」という話から、「平均買付単価」に流れてしまっているのです。

これは絶対にやめてください。平均買付単価の話をして、ドルコスト平均法の特徴は何一つ説明できないからです。それどころか、真逆の印象を与えてしまいます。

この準備ができたなら、早速ゲームのプレゼンを始めましょう！

【1】基本プレゼンの型 (高木さん / 金融機関の方 sample1)

じぶん年金ゲームで、一番大切な基本プレゼン(高木さん・金融機関の方はsample1)の型を解説します。
 当マニュアルで説明している「型」通り、プレゼンしてください。初期設定プレゼンは、3つのステップに分かれます。

STEP1:「量」の視点を深く与える

STEP1の目的は、「値下りのメリット=量を買ひ込める」を理解してもらうことです。

5年目:基本の確認(量×価格)

まず、簡単にルール説明をしてから入ります。

このゲームは架空の商品に、毎年1万円ずつドルコストをしていきます。
 20年間で20万円を積み立てて、その成績を予測するゲームです。
 まずは、5年目からみていきましょう！

まず、最初に5年目を表示します。「価格」のグラフを見せながら、「一番、成績がいいのは何色でしょう？」とクイズを出します。
 5年目は慣れてもらうためのウォーミングアップですので、答えを見せる前に、「答えは赤色ですよ。」と先に教えて大丈夫です。



正解は「成績」を押します。5年目、赤色が1位になりました。



そして、「赤色は、どんな値動きだったでしょうか？」と聞いて、もう一度、「価格」タブに戻ります。価格の動きを見せながら、赤色が1位になれた理由を説明します。



$$\text{投資の成績} = \text{量} \times \text{価格}$$

5年目は、基本の確認です。「赤が最初の下がって「量」を買ってから上昇したので良い結果が出ました」と軽く確認する程度でいいでしょう。

よくあるミス・注意点

5年目は、このツールに慣れてもらうためのウォーミングアップなので、サクッと説明してください。

合計口数のタブを見せたり、細かい説明は不要です。ここで時間がかかると、sample1プレゼンに非常に時間がかかってしまいます。

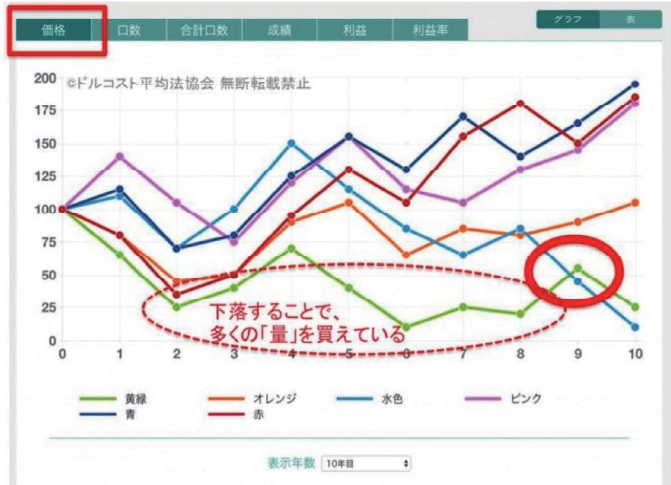
「価格」→「成績」→「価格」だけ見せて、サクッと10年目に進みましょう。

10年目：一番重要なポイント=9年目の黄緑

重要！

高木さん (sample1) プレゼンで一番大切なのが**10年目のプレゼン**です。5年目と同様、価格を見せて「今度は何色が一位でしょう？」と考えてもらいます。「量」の意識を持っている人が多いので、オレンジと考える人が多いです。正解を見せる前に、「赤色が正解です。」と答えを教えてOKです。

「価格」のグラフを見せると、お客様は9年目に黄緑が少し上昇しただけで、1位になったことがわかります。お客様に、「なぜ9年目に黄緑がわずかに上昇しただけで1位になったかわかりますか？」と聞きます。答えは「量」です。この9年目の黄緑の説明をすることで、お客様の中で、「量」の意識が深く強くなります。



10年目の「成績」を表示します。答えは「赤色」でした。

ここで「合計口数」のタブを見せます。すると、黄緑が多くの「量」を買っている様子が見えます。



1位は「赤色」でした。しかし、10年目のポイントはここではありません。10年目のポイントは、**9年目の黄緑**です。お客様に、9年目の黄緑を指して示しながら、「**ここ、見てください。黄緑が9年目に一気に上昇して、1位になってますね。9年目の黄緑は、どんな値動きだったか覚えてますか？**」と質問します。ほとんどのお客様は9年目の黄緑の動きを意識してなかったため、わかりません。そこで、「価格」に戻り、答えを見せます。

10年目のプレゼンは、9年目の黄緑を説明することが最大の目的。ここで「量」の意識が落とし込めます。

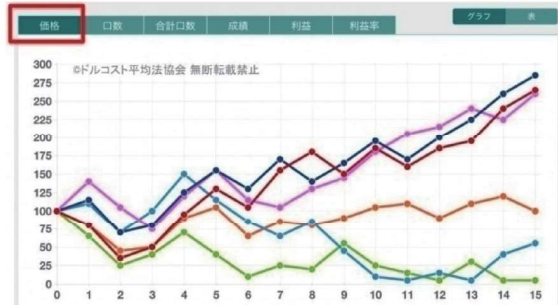


10年目で「量」の意識が、かなり強くなる

$$\text{投資の成績} = \text{量} \times \text{価格}$$

15年目：一番の盛り上がりポイント： →「量」の意識が固まる

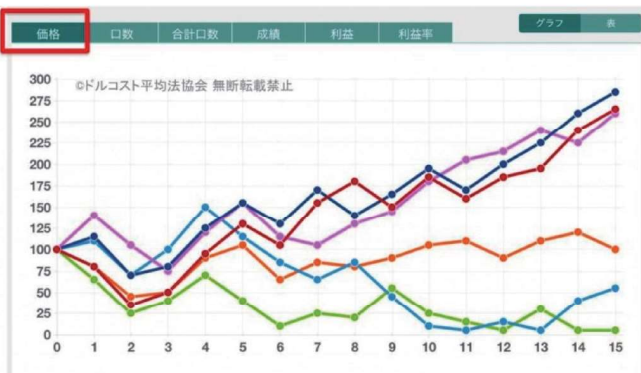
次は15年目です。15年目は一番盛り上がるポイントです。先ほど同様に、どれが一番儲かるか考えてもらいます。一番人気は水色です。ただ、「騙されないぞ」など警戒したり裏を読む人(ほぼ男性)は、赤や青を選びます。



正解は、「水色」でした！赤色を僅差で水色が抜いています。お客様は、「やっぱり「量」はすごいんだ！」と「量」の威力を再認識して、自信を持ちます。



もう一度、「価格」を見せて整理します。「これだけ価格差があっても、水色が勝つた原因は何ですか？」と質問して、お客様の「量」の意識を強くしていきます。



5年目で「量」の効果を確認し、10年目で「量」の威力を実感しています。そして、15年目で「量」の威力を確信してもらいます。

15年目で「量」の意識ががっちり固まって、「量」のファンになる

$$\text{投資の成績} = \boxed{\text{量}} \times \text{価格}$$

15年目で「おお！「量」の力はすごいね！」と言ってもらうイメージ。10年目より、さらに感情が動く

20年目：「量」の威力を最後に確認

最後の20年目です。20年目は「量」の意識の確認作業でサプライズはないので、説明を簡略にするため、1位は黄緑、2位は水色と先に教えてOKです。



もう一度、公式を見せながら「量」の視点を確認してもらいます。15年目までは感情が動いて盛り上がるのですが、20年目は違います。「やっぱり「量」は凄いんだ！」と確認してもらおう作業なので、落ち着いて考えてもらいましょう。



20年目は「量」の威力の再確認。「量」への信頼がより強固になる

$$\text{投資の成績} = \boxed{\text{量}} \times \text{価格}$$

20年目は驚いてもらうのではなく、「再確認」させて、心を落ち着かせるイメージ。高ぶった感情を落ち着かせる。

【1】基本プレゼンの型：STEP1 まとめ

目的：量の意識をしっかりと理解してもらう

5年目

基本(投資の成績=量×価格)の確認

・「ふむ」

投資の成績= 量 × 価格

10年目

9年目の黄緑が最大のポイント

・「量を買うとすごい！」

投資の成績= 量 × 価格

15年目

15年目が一番の盛り上がりポイント

・「おお！量の力はすごい！」

投資の成績= 量 × 価格

20年目

20年目は確認作業

・「量の力がすごいのがわかった」

投資の成績= 量 × 価格

STEP2 :シーソーの関係

高木さん (sample1) プレゼンのSTEP2で、シーソーの関係を伝えます。

重要！シーソーの関係をきちんと図解して説明できるようにしよう

(1) 上がったってもOKを説明する

高木さん (sample1) プレゼン前半では、繰り返し「下落しても構わない」「下落のメリット」を説明しました。すると、お客様は「ドルコスト平均法は上がったはダメなのかな？」と疑問を持ちます。そこで、後半は「値上がりした場合」について説明します。お客様に「赤色や青色は順調に上昇してるけど、どうなると思いますか？」と質問します。



正解は赤も青もきちんと利益が出ています。



ここで、お客様に「ドルコスト平均法は、上がった方がいいのでしょうか？下がった方がいいのでしょうか？」と質問をします。ここでお客様は悩みます。



正解は「どちらでもいい」と答えます。

答え:どっちでもいい

(2)シーソーの関係を説明する

そして、ドルコスト平均法の公式で、シーソーの関係を説明します。

・「価格」が下がると、買える「量」は増えます。「量」が増えるので、「価格」が少し戻ると利益が出やすいです。

・「価格」が上がると、買える「量」は減ります。そもそも投資において「価格」が上がることはいいことなので、これでも利益は出ます。

「量」と「価格」は、シーソーの関係で、どちらかが上がれば、もう一方は下がります。

多くの人は「量」をみてないので、誤解していますが、ドルコストの場合、上がったも下がったも、あまり気にしないでいいのです。大切なのは続けることです。

それと、最終的には上昇してほしいので、中長期的に「価格」が成長が見込める資産に積み立てることが大切です。

ドルコスト平均法のシーソーの関係



ただし、「どちらでもいい」で終わってしまうと、お客様はどうすればいいのかわからなくなるので、次の様に続けます。

『基本的には「きちんと良い成績が期待できる商品を選びましょう。その方が黒字が続くので、より安心して続けやすいからです。』

ただ、どんなにいい商品でも、始めるタイミングによっては、●●ショックなどで大きく下がる可能性があります。

しかし、ドルコストなら、それでも気にせず、安心して続けて良いのです。理由は下がれば「量」を買うからです。』

この様に、基本は上昇していく商品を選ぶが、下がってもOKとフォローしておきます。



ただ、下がっても安心して良いで、まとめる

STEP3:早く始めるのが重要！

高木さん (sample1) プレゼンのSTEP3で、早く始めるのが重要！と伝えます。

超重要！今すぐ始めるべき理由を
しっかり教えよう！

(1) 始めるタイミングは早い方が良い

シーソーの関係で、「細かい値動きを気にしても意味はない」ことを説明しました。そこから始めるタイミングについて、話を移します。「成績」のグラフを見せて、序盤の成績のブレ幅が小さいことを伝えます。



ドルコスト平均法では序盤・中盤の「成績の変動幅」は小さくなる理由は、序盤は「量」が溜まってないからです。いくら価格が変動しても、「量」が溜まってないので、投資の成績に与える影響は少ないのです。20年・30年と行った場合のことを考えると、序盤の成績の変動幅など気にする必要はありません。

ドルコストを始めた頃は、投資金額も少ないので、買えている「量」が積み上がっていない

$$\text{投資の成績} = \boxed{\text{量}} \times \text{価格}$$

ここでも「誤解」を説明します。ほとんどの人は「投資を始めるタイミングが重要」と誤解しています。それは「量」の視点を持ってないからです。ドルコストは始めるタイミングは重要ではないと説明します。

だからこそ、ドルコストを始めるなら、なるべく早くやった方がいい！と強く言い切ります。

金利で増やすのは非常に厳しい時代になりました。これからは海外の人たちと同じように、ドルコストで「量」を増やしていくのが重要です。

「価格」は確実に上がるとは言えませんが、「量」は確実に積み上がります。ドルコストをするなら、早く始めた方がいいのです」と今すぐ始める理由を説明します。



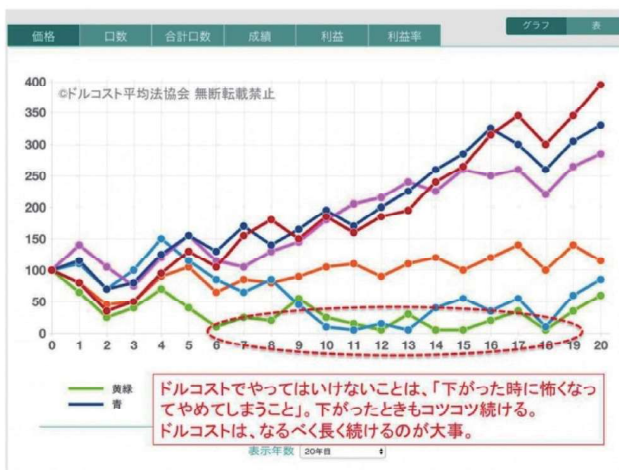
(2) 下がっている時に途中でやめてはいけない& 終盤はブレ幅が大きくなるからリバランス

次に、「ドルコスト平均法の途中で下がっている時に辞めてはいけない点」も説明しましょう。ドルコスト平均法は万能ではありません。

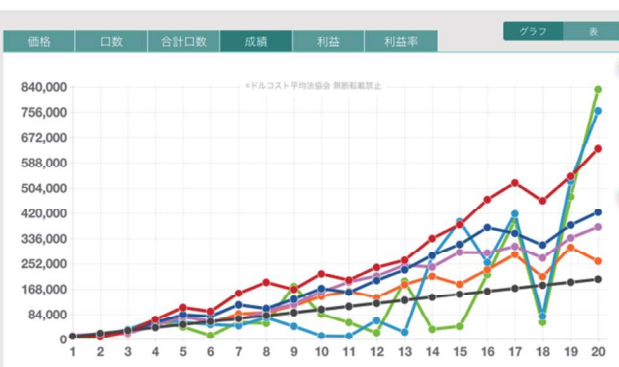
「価格」が下がっている時は、「量」を買い込むチャンスですが、「成績」は赤字になることもあります。

その時に辞めてしまうと、非常に残念な結果になります。

大切なのは「早く始めて、長く続けること」を説明しましょう。



また、「量」が積み上がった終盤は成績のブレ幅が大きくなります。終盤は様子を見ながら、安定運用に切り替えるリバランスなども説明しましょう。また、その時に相談相手が必要なため、アドバイザーの価値を伝えましょう。



【1】基本プレゼンの型：STEP2 STEP3 まとめ

シーソーの関係→早く始めた方がいい

(1) 赤や青で「上がっても良い」と伝える

(2) 上がっても、下がっても良い！→シーソートーク

- ・基本的に上昇が期待できる商品の方がより良い！
- ・しかし、下がってしまっても気にせず続けられれば良い

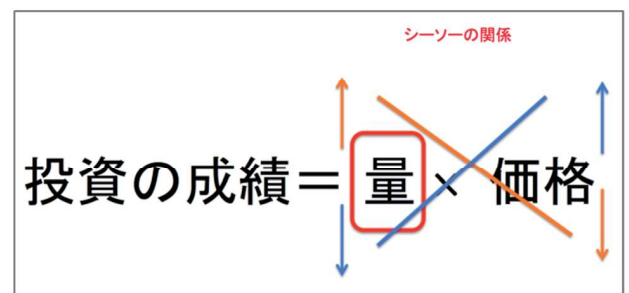
(3) 始めるタイミングは早い方がいい

- ・クロージングに向けて強くなんでも言う

(4) 下がってる時に辞めてはいけない

(5) 終盤のリスク管理は重要

- アドバイザーが必要



初期設定プレゼンで、「日本人が持っている3大誤解」を全て解くことができる

① 下がったら損をする

→それは誤解！STEP1で解説。「下がる=量を買える」

② 投資の成績は、商品の成績で決まる

→これも誤解！STEP2で解説。「投資の成績」は、「商品の成績=価格の値動き」だけでは、決まらない。量と価格の掛け算で決まるし、それはシーソーの関係。

③ 投資を始めるタイミングが重要

→これも誤解！STEP3で解説。ドルコストを始めるタイミングは全然重要でない。「量」を貯めて行くなら、なるべく早く始めた方がいい！

→誤解を解くと、「知らなかった」「友達や従業員に教えてあげよう！」となる

【2】オプションプレゼン

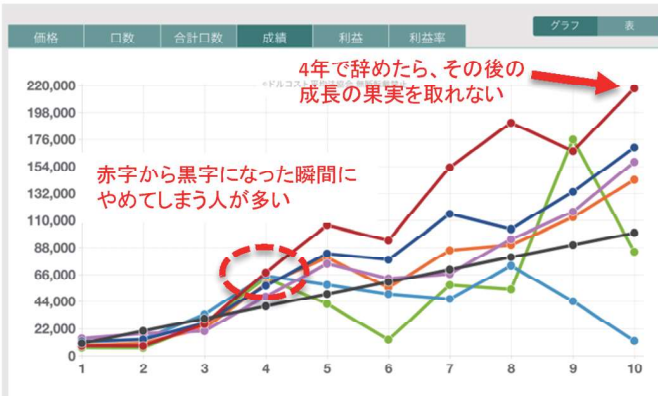
オプションプレゼンは、ワンポイントで使えるプレゼンです。目的を理解して、使って見てください。

①お客様が辞めてしまう2つのポイント (10年プレゼン)

ドルコスト平均法は、長く続けるのが重要です。しかし、マーケットが変動すると、すぐに「辞めたがる」お客様が多いです。事前に、お客様に「途中でやめてしまいたくなるポイント」を伝えておくことで、途中でやめる可能性を下げることができます。また、アドバイザーなどのサポートが重要な理由も説明できます。

(1) お客様がやめてしまうポイント1 4年目の赤

高木さん(sample1)で、10年目の「成績」グラフを表示します。
お客様がやめてしまう1つ目のポイントは、4年目の赤です。開始して3年間赤字が続き、「嫌な時間」を過ごした後、4年目に黒字になった時、「損もしてないし、また赤字になるのも嫌だし、もうここでやめておこう」と売却したくなります。
しかし、4年目で辞めてしまったら、10年目の様なそのあとの成長の果実を取ることはできません。



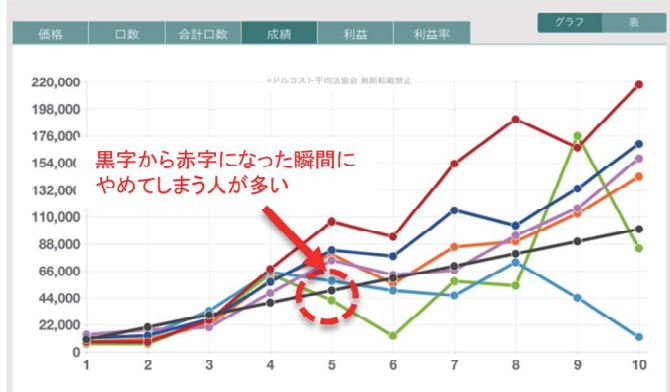
次に、グラフで20年目を表示します。そうすると、10年目に比べて、4年目の黒字がさらに小さく見えます。

「もともと、将来の資産形成が目的なので、短期的な赤字や黒字は気にしないでいい」「なるべく長く続けて量を積み上げる大切さ」を再確認してもらいましょう。



(2) お客様がやめてしまうポイント2 5年目の黄緑

もう1つ、お客様が辞めてしまうポイントがあります。それが5年目の黄緑です。4年目まで結構黒字が出ていたのに、大きく下落して赤字になった瞬間です。「やっぱり投資なんかしなきゃよかった…」と後悔して、辞めていくパターンです。



これも先ほどと同様、20年目のグラフを見せませす。そして、5年目の赤字など、長い目でみれば気にしないでもいい事を確認しましょう。

特に序盤は買えている「量」が少ないので、投資の成績の変動は、限定的です。初心を思い出し、「量」を買い込んでいく視点を再確認しましょう。



お客様をコーチングしてあげるのは アドバイザーの大切な付加価値

スマホでかんたん！ 蓄積記録 共有システム
memolog

お客様は、怖がって上がっても下がってもすぐに辞めたがります。そのとき、アドバイザーが初心を思い出させてあげるコーチングは大切な役割です。その点もお客様に伝えましょう。(資産運用のコーチングに、初心を記録に残し共有できる「メモログ」を使うとさらに効果的です。)

②細かい値動きは悩んでも仕方ない (赤青プレゼン)

ドルコスト平均法は、シーソーの関係なので、あまり細かい商品の値動きを気にしないでも大丈夫です。

基本プレゼンのSTEP2:シーソーの関係は、上下に大きく離れているケースですが、似たような値動きでも「悩まないでいい」事を示す事で、より「細かい値動きは悩んでも仕方ない」と理解が深まります。

赤と青は似ているが...

赤青プレゼンとは、初期設定の赤と青を残してプレゼンする方法です。



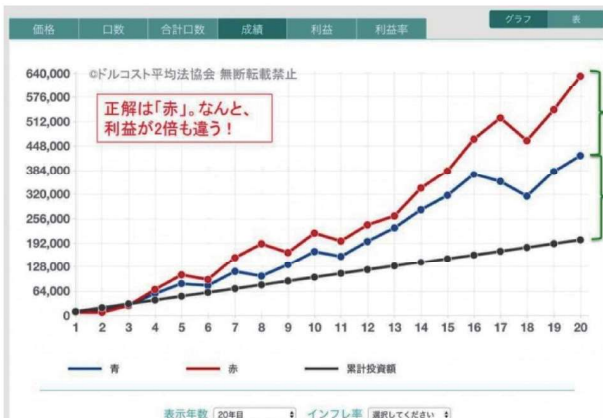
赤が青の2倍利益が出ていることを視覚的に説明するために、指できちんと示してあげましょう。数字で見せたい方は、「表」の「利益」タブを押して20年目を比較します。



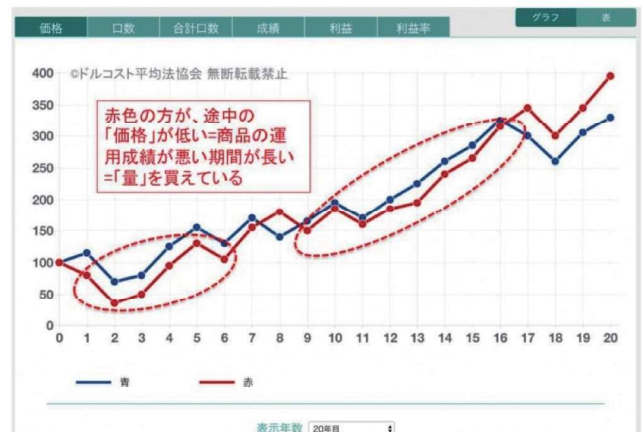
赤と青の値動きを見せます。この2つは値動きが非常に似ていますが、どちらが儲かるか質問します。



正解は赤です。ここでのポイントは、赤が青の約2倍も利益が出ている点です。



もう一度、「価格」を見せます。これだけ似ていて、2倍も利益に差が出るとは予想もしなかったはず。そこで、解説をします。まず、赤色の方が途中の「価格」が低い期間が長い。つまり、赤色の方が「運用商品の成績が悪い期間が長い」ということです。



注意点は、「商品の成績が悪い方がいい」とは言わないことです。あくまで、「商品の成績が悪くても構わない」というメッセージにしましょう。そして、「商品の成績が悪くても、心配しないで続けていくことが大事」と伝えましょう。

③ いつまで元本確保にしている？[DCオススメ](茶色プレゼン)

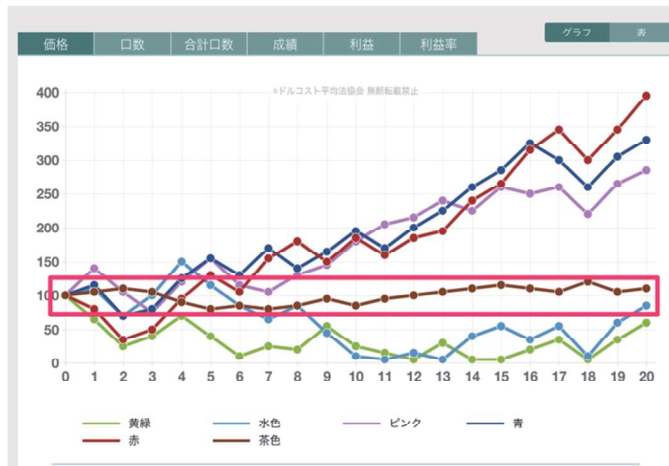
確定拠出年金の加入者の大半は、「損したくない」ので、「元本確保型」を選択しています。
 しかし、元本確保にこだわると、せっかくの資産を成長させるチャンスを取り逃すことにもなります。
 「茶色プレゼン」で、ドルコストなら中長期的に成長すればいい点と、元本確保のもったいなさを伝えましょう。

オレンジを外して、茶色にチェックを入れる

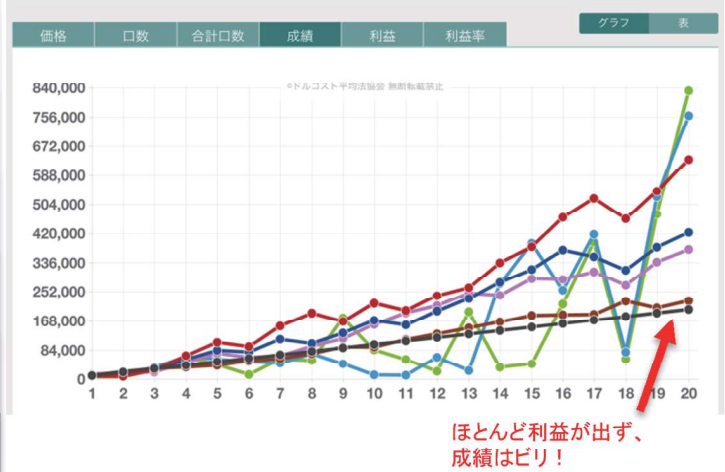
初期設定の高木さん(金融機関の方はsample1)で、オレンジのチェックを外して、茶色にチェックを入れます。



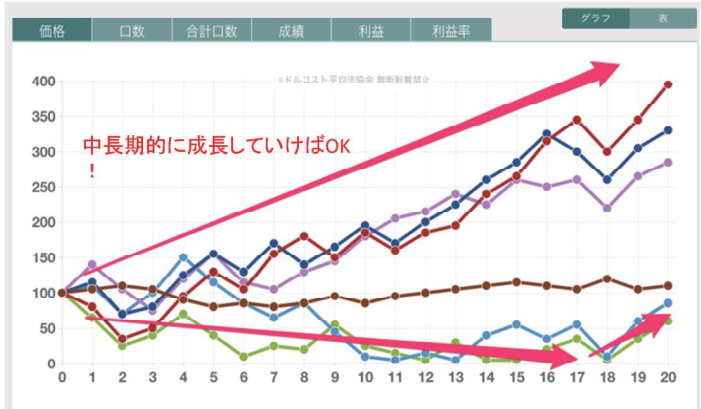
ほとんど値動きがない「茶色」が表示されます。さて、茶色に積立するとどうなるでしょう？



投資の成績は、茶色がビリでした。ほとんど利益が出ていません。



上がっても下がってもいいから、中長期的に成長が期待できる資産に積み立てよう!



ドルコストは、中長期的に上昇して入れればOKです。
 元本割れを過度に恐れて、リスクを取らなすぎると、せっかくの成長の機会を逃してしまうことになります。

確定拠出年金の加入者で、半数以上の方は「元本確保型」を選択しています。そういう方には、この茶色プレゼンを見せて、「いつまで元本確保型にしますか？」とメッセージを伝えましょう。

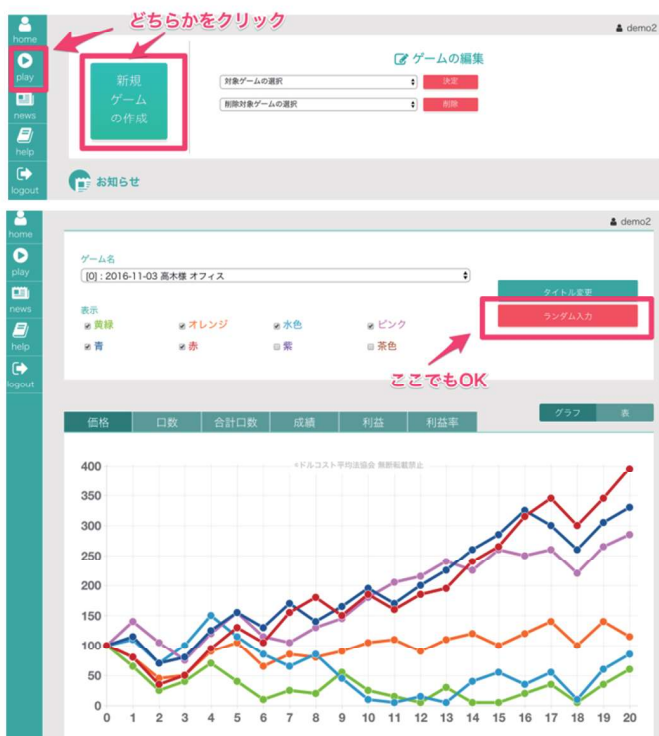
【3】ランダムゲームのポイント

初期設定プレゼンで、基本を説明したら、お客様と一緒にランダム・ゲームで盛り上がりましょう。

ゲームはランダムで行うと一番盛り上がります。お客様と一緒に初めてみるグラフを見ながら考えるので、一体感が出ます。

この臨場感は、あらかじめ設定してあるクイズの場合と全く違います。セミナーなどでは、正解した人に粗品などつけるとより盛り上がります。

(1) ゲームの始め方



ゲーム運営画面で、「ランダム入力ボタン」を押せば、ワンタッチで次のゲームが表示されます。

ただし、初期設定されているケースの場合は、上書き防止のためランダム入力できません。左のサイドバーから新規ゲームをスタートしてください。

(2) ゲームの保存の方法



面談やセミナーで面白いパターンが出たら、保存しておきましょう。後で呼び出すことができます。名前をつけた後、ランダム入力ボタンを押すと上書きされてしまうので、気をつけてください。名前をつけた場合は、次のゲームは新規スタートしてください。

(3) おすすめのゲーム方法

①粗品をつける

ゲームは粗品がつくと、より盛り上がります。

②総得点を競う

「ゲームを3問しましょう」と言い、一番多く正解できた人には「粗品」をつけます。と言うとよりゲーム生が増えて盛り上がります。

(4) 当ゲームのランダム性について

ランダムゲームは、あらかじめ登録してあるパターンをランダムに出力している訳ではありません。

文字通り、毎回コンピューターがランダムにパターンを作って、表示します。それゆえ、主催者も初めてみる問題になります。

主催者も初めて出てくる問題をお客様と一緒に考えるので、あらかじめ準備したクイズとは異なるお客様との一体感が得られます。

(5)ランダムゲームは、お客様のアウトプットの機会

何かの研修に出た時、一方的に話を聞いているだけの研修と、話を聞いた後にロープレをしてアウトプットする研修では、どちらが身につくでしょうか？圧倒的にロープレなどをしてアウトプットした方が身につきます。

ドルコストも同じです。初期設定プレゼンは、お客様にドルコストの特徴をインプットしてもらう機会です。

そこで覚えてもらった内容を、アウトプットする機会がランダムゲームです。「投資の成績=量×価格」を使って、ランダムに形成されるパターンを見ながら、考えてもらうからです。

初期設定プレゼンだけでも、しっかりと教育は可能です。しかし、より学んだ内容を長く覚えてもらいたければ、2,3問で構わないので、ランダムゲームをすることをお勧めします。

(6) ゲーム運営で重要なポイント

①面白いくない(簡単なものなど)が出たら、すぐにランダムボタンを押して、他のパターンにしてOK!

→ランダムなので、何が出るかわかりません。すごく簡単だったり、変なのが出ることももちろんあります。その場合は、「これは簡単なもので、他のにしましょう。ゲームなので楽しいのにしましょう。」と言って、すぐにランダム入力をして次のパターンに行きましょう。

②運営者が外してもOK!

→「プロの担当者だから、外したら格好悪い」と思われる方もいますが、逆です。「プロでもわからない」ことをわかってもらえば、後は楽です。

細かい値動きを気にしたり、考えるより、中長期的に成長が期待できる資産(商品)を選んで、早くスタートすることを説明しましょう。

③セミナー形式の時は、粗品をつけることさらに盛り上がる

→セミナーなどでは、正解者に粗品をつけると「ゲーム性」が上がり、参加者の真剣度が変わります。その場合、「3問全問正解」などを条件にするよりは、¥3問中2問正解した人にプレゼントにした方が、最後まで離脱感がなく、楽しんでもらいやすくなります。

***ランダムゲームの様子は、ドルコスト平均法協会のHPや、じぶん年金ゲームのHPで公開中です。ゲームのイメージを確認してみてください。**

<http://dca23.com/> <http://jbnkhelp.com/>

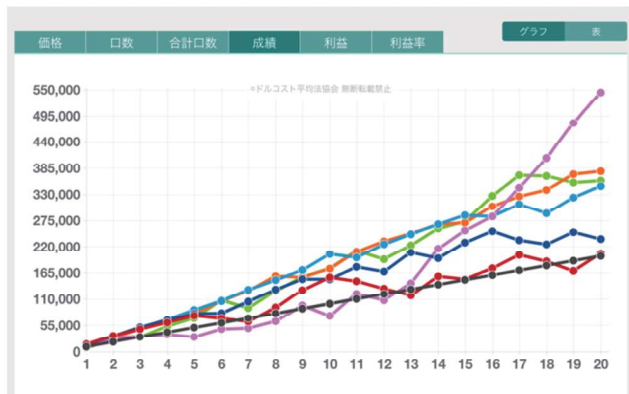
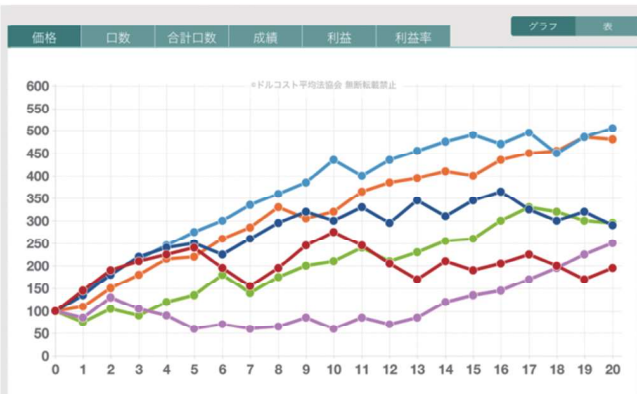
【4】初期設定クイズについて

セミナーや面談ですぐに使えるクイズを登録してあります。このパターンは、これまでの実践の中で反応が良いものを選びました。ランダムをするのはちょっと怖いと思う方は、初期設定クイズをご活用ください。金融機関の職員が大勢外したパターンも登録してあります。(クイズ5,6,7)面談やセミナーで使ってみてください。

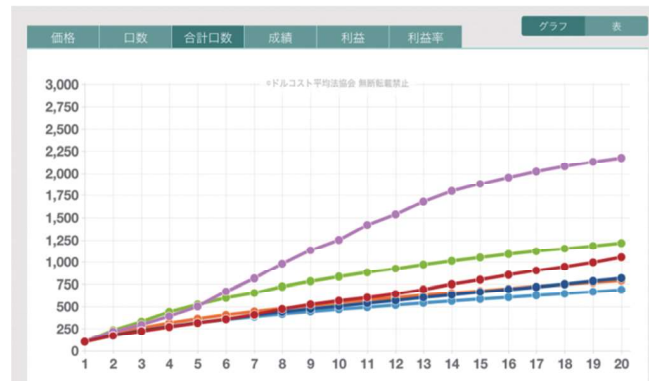
クイズ1: 値下がり勝ちパターン (目的=お客様に自信を持ってもらう)

正答率: 95%

まず、クイズ1です。
これは「値下がりのメリットを再確認するため」に使います。
簡単なので大体の方は当てます。当ててもらうことで、自信を持ってもらいます。ウォーミングアップにご利用ください。



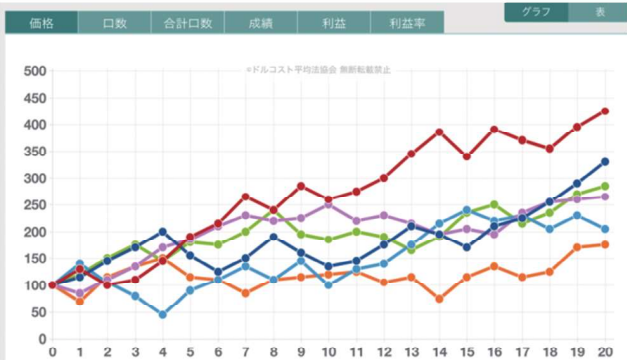
もっとも値下がりしているピンクが一番上になるので、「ドルコストの値下がりのメリット」をシンプルに説明しやすいクイズです。「量」を確認しても、ピンクが一番買い込んでいるのがわかります。



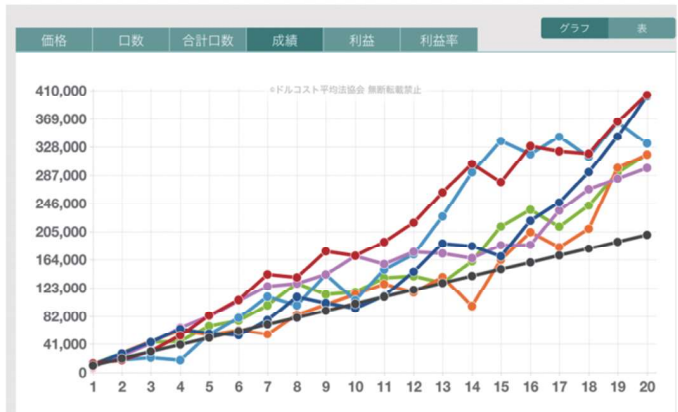
クイズ2: 値上がり勝ちパターン (目的=上がってもいい!)

正答率: 5%

高木さん、クイズ1で「量」の視点をしっかり教育したら、次にクイズ2を出します。クイズ2は、価格が上昇する赤が勝つパターンです。



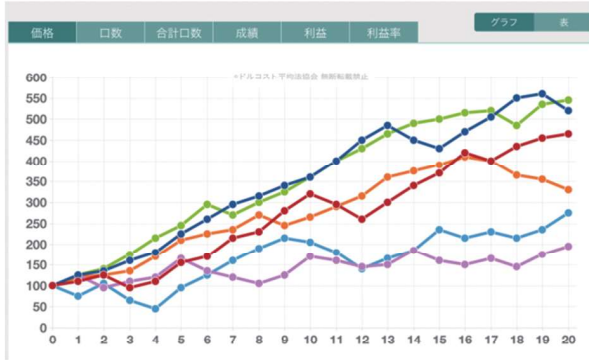
ここで、大半の人が間違えます。それまで「量」の視点をしっかり意識させているので、ほとんどの人は水色やオレンジに手を挙げます。しかし、赤色が勝ち「え？なんで？」と驚かれます。クイズ2をしたら、改めて「シーソーの関係」を説明して、「上がってもいいこと」を説明します。



クイズ3:真ん中が勝つパターン (目的=真ん中でもいい!)

正答率;10%

クイズ1で「下がっても良い」、クイズ2で「上がっても良い」をしたら、クイズ3を出します。
クイズ3は、「真ん中でも良い」です。



「量」と「価格」のバランスが良い赤色が勝ちました。



↑ バランスよく高くてもOK! ↑

投資の成績 = **量** × 価格

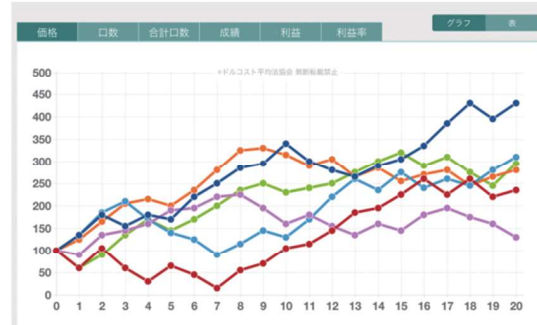
- ・クイズ1は、「量」を買い込んで勝つパターン
- ・クイズ2は、「価格」が上がって勝つパターン
- ・クイズ3は、「量」と「価格」のバランスがよく勝つパターン

このクイズ1,2,3の3ステップで、「ドルコストで大切なことは、短期的な上下ではなく、中長期的に成長すること」をしっかり教育できますので、お客様に試してみてください。

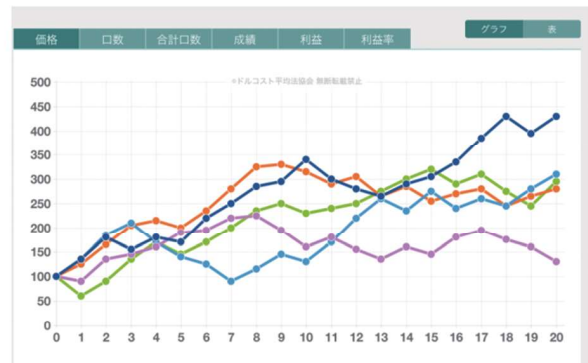
クイズ5:上がっても勝つパターン

正答率:3%

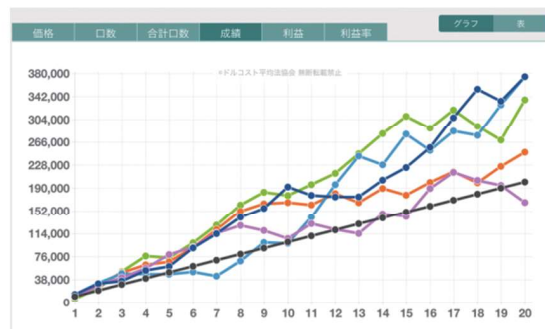
クイズ5は、金融機関の職員150人・170人が全員外したパターンです。クイズ2の代わりに使えば、効果は抜群です。ただ、2点注意点があります。



注意点1は「赤は非表示にする」です。赤があると簡単なので、非表示にします。注意点2は「金融機関の人が全員外した等は先に言わない」です。難しいと言うと、裏を読む人がいるからです。



こうすると、一番人気は下落が目立つ水色、2番目が最初に下がっている黄緑になります。しかし、正解は青色で、ほぼ外します。



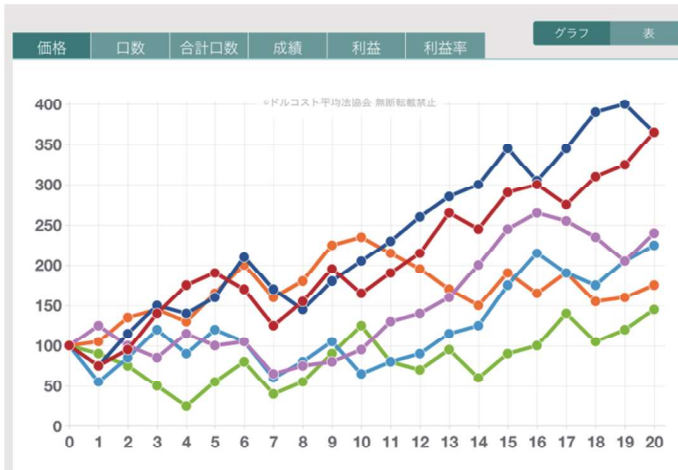
商品名	青色	水色	黄緑	水色	青色
プレーヤー1	76,940円	62,390円	46,900円	56,640円	53,100円
プレーヤー2	74,090円	67,400円	46,900円	79,230円	59,670円
プレーヤー3	96,800円	96,940円	50,700円	91,600円	90,300円
プレーヤー4	127,900円	125,400円	42,740円	114,620円	113,750円
プレーヤー5	161,910円	151,400円	68,650円	127,350円	141,070円
プレーヤー6	183,000円	164,010円	98,180円	118,950円	156,350円
プレーヤー7	177,560円	166,000円	97,800円	105,760円	191,760円
プレーヤー8	195,800円	162,110円	141,100円	130,300円	177,900円
プレーヤー9	214,200円	182,860円	185,580円	120,900円	173,280円
プレーヤー10	246,670円	165,890円	242,840円	114,670円	175,430円
プレーヤー11	279,900円	189,240円	228,420円	147,040円	203,000円
プレーヤー12	309,120円	178,240円	279,120円	142,390円	223,870円
プレーヤー13	289,130円	199,260円	252,240円	189,180円	294,940円
プレーヤー14	318,810円	217,020円	284,180円	215,860円	306,840円
プレーヤー15	250,320円	194,890円	277,090円	202,850円	353,890円
プレーヤー16	269,250円	225,780円	338,360円	194,400円	334,170円
プレーヤー17	336,300円	249,200円	374,480円	166,140円	374,530円

青と水色が重なって見えますが、細かい数値は表で確認できます。

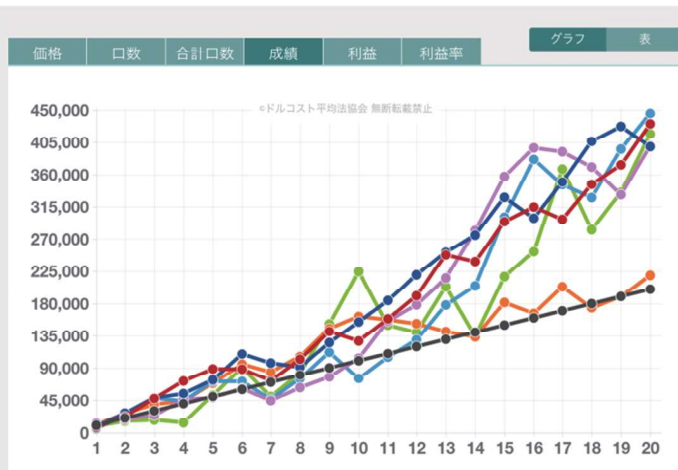
クイズ6: 200人全員失敗パターン (下がった方がいいというイメージの時に出すとほぼ間違える)

正答率:3%

クイズ6は、金融機関の職員約200人が全員外したパターンです。「量」の意識が強い状況で、この問題を出すとはほぼ間違えます。



「量」と「価格」のバランスが良い水色が勝ちました。最後の成績は、かなり微妙な差なので、「中長期的に成長していれば、途中の値動きはあまり気にしないで良い」と説明しやすいパターンです。

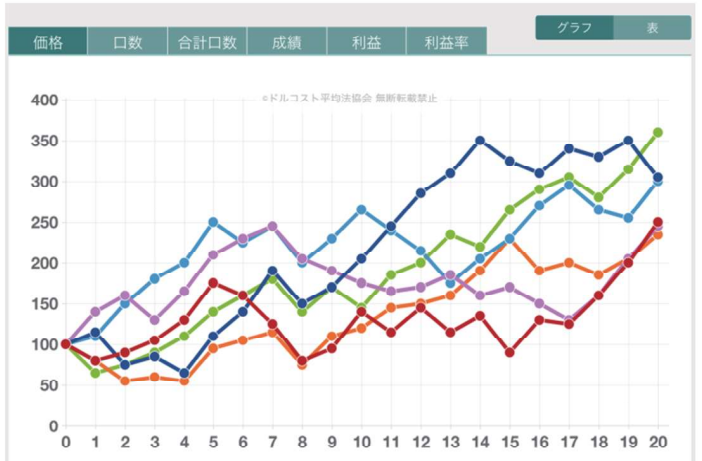


また、オレンジの様に、上がった後、下がったらダメとNGなパターンも説明しやすいのでおすすめです。

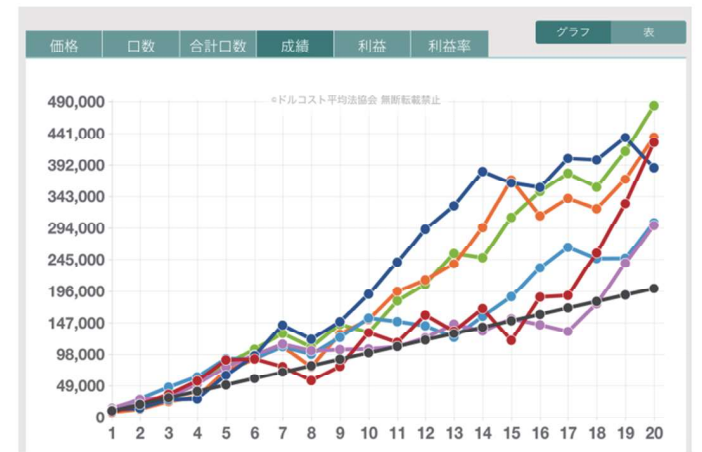
クイズ7: 400人全員失敗パターン (下がった方がいいというイメージの時に出すとほぼ間違える)

正答率:1%

クイズ7は、金融機関の職員約400人が全員外したパターンです。「量」の意識が強い状況で、この問題を出すとはほぼ間違えます。



「量」と「価格」のバランスが良い黄緑が勝ちました。15年目の赤色がかなり下がっているのが目立ち、赤色に意識が向く人が多いです。



このパターンも、クイズ6と同様、中長期的に成長していれば、あまり途中の経過は気にしないで良いと説明しやすいです。

【5】ゲームを使いこなすヒント・注意点

ゲームを使いこなすためのヒントなどをお伝えします。

「ゲーム」という言葉の力を使おう

ゲームという言葉は非常に強力です。

「ゲーム」という言葉には「楽しい」というイメージが付いているからです。

「セミナーしませんか?」「勉強会をしませんか?というより、「ゲームしませんか?」の方が簡単に興味を持ってもらえます。

また、「このゲーム3人いると盛り上がるんですが、お友達(同僚の方)呼んでくれませんか?」と声をかけるこのOKです。

また、ゲームを使いこなすと「確定拠出年金の継続教育」などにも強力なコンテンツになります。職場でのゲーム大会なども企画してみてください。

また、フォローにゲーム大会をして、そこでドルコストを理解したお客様から追加のご契約をいただいたり、他の商品の契約に結びつけている方もいます。

まずは、少人数ゲームをコツコツと継続開催するのがおすすめです。そこから、ネットワークを広げて行ってください。

注意点

①電波がいいところで使おう

ゲームを快適に操作するために、電波がいい所で使いましょう。ゲームが動かないと、雰囲気が悪くなるので、使う前に必ず電波をチェックしてください。

②スマホの人はデザリングがオススメ

wifiを使っている人が多いと思います。wifiの電波の種類によって、「ビルなどの建物内に弱い電波」もあります。

スマホを持っている人は一番オススメなのは、デザリングです。LTEの電波は携帯電話の電波と同じなので、建物内でも通じやすいからです。

ゲームで使うデータは非常に軽く、ほとんど消費量は気にしないでいいので、スマホをお持ちの方は、デザリングオプションをつけることをお勧めします。

③余計なタブなどは開かずに使おう

タブなどを沢山開くと、メモリを消費します。メモリを消費すると、動作が重くなることもあります。ゲームを使う場合は、なるべく開いているタブを閉じたり、デスクトップを綺麗にしましょう。詳しくは右列「動作が遅いと感じたら」をご覧ください。

④最新のブラウザに更新しよう

古いブラウザだと、レイアウトが崩れてしまうことがあります。なるべく最新のブラウザに更新しましょう。

「動作が遅い」と感じたら

じぶん年金ゲームを利用する際に、「グラフの動作が遅い」「PCがフリーズしてしまった」などのトラブルが起こる場合があります。その場合の対処・予防方法について解説します。

①メモリを解放する

パワポ・エクセル・ワード・クロームなど複数のソフトを起動したり、ブラウザでいくつもタブを立ち上げたり、ゴミ箱が一杯だったり、デスクトップに沢山のファイルを置いているとPCのメモリを消費してしまいます。

その場合、使っていないソフトを終了させたり、不要なタブは閉じたり、デスクトップを綺麗にして、なるべくメモリを消費しない様にしてください。そして、メモリを解放して、使えるメモリを増やしてください。簡単に言えば、**使えるメモリが少なくなると、PCが重くなったりフリーズしやすくなります。**

メモリの解放については、「メモリ解放ツール」が多数あるので、「windows10」などの人は、「windows10 メモリ 解放」と検索してもらえば沢山出てきます。

②メモリを増強する

windows10の方は、PCのメモリは**8G以上を推奨**します。windows10など、新しいOSになると起動しているだけでメモリをそれなりに消費します。(細かいメモリーがつかたりして、高機能化している為、古いOSよりもメモリを消費します)ゲーム自体は、軽いデータしか扱ってないので、そこまでメモリは消費しません。メモリは機種によって搭載できる上限が決まっています。大抵の場合、買った時は上限までメモリは搭載されてなく、追加可能なケースが多いです。

自分のPCに搭載できるメモリの上限は、「機種名 + メモリ上限」などで検索すればすぐに出てきます。また、「機種名 + メモリ 追加方法」などで検索すれば、メモリの追加方法も出てきます。

ただし、メモリはPCによって使用できるものが異なりますので、詳しくない方は、電気屋さんで聞いてみてください。

③最新のOSに耐えられる機種にする

古いタブレット等をお使いの場合、最新のOSにアップデートすると動作が非常に重くなる場合があります。

タブレットの場合、PCほど高い処理能力を備えていないのと(特に古いタブレット)、それに最新のOSをインストールすると一気に重くなる場合があります。私もipadをいくつか保有していますが、古いipadは今のOSにアップデートすると、非常に重くなり動かなくなります。タブレットを利用されている方は、なるべく新しい機種を利用することをお勧めします。

*ゲームサイト(<http://jbnkhelp.com>)に掲載されているインストラクターのインタビューも御覧ください